

広島県カーボン・サーキュラー・エコノミー推進協議会の設立について

〔 令和3年5月19日
商工労働局 〕

1 協議会の概要

- 目的：広島県がCO₂削減及びカーボンリサイクル^(注1)の先駆的な研究開発の拠点となり、これら技術の社会実装への取組を推進し、もって地域振興さらにカーボン・サーキュラー・エコノミー^(注2)を実現すること。
- 活動内容：数年後を見据えたビジョンを描いた推進構想を作成し、県全体が共通認識できるようフォーラム等の情報発信を通じ、普及啓発等を行う。
- 設立総会：令和3年5月20日（木）15:00～16:00
(WEB会議により開催)
- メンバー：

区分	会員名
産 (12者)	岩谷産業(株)、住友商事(株)、(株)ダイセル、中国電力(株)、電源開発(株)、戸田工業(株)、広島ガス(株)、マツダ(株)、三菱ケミカル(株)、三菱パワー(株)、(株)ユーグレナ、ランデス(株)
学 (3者)	広島大学 市川貴之教授、県立広島大学 小林謙介准教授、国立研究開発法人産業技術総合研究所
官 (2者)	中国経済産業局、広島県
オブザーバー (7者)	(株)広島銀行、(株)もみじ銀行（一社）中国経済連合会、呉市、竹原市、東広島市、大崎上島町

2 令和3年度活動スケジュール（予定）

時期	内容
R3年5月	設立総会
6月15日	カーボンリサイクルの普及啓発を目的としたフォーラムを開催 (新型コロナウイルス感染症の状況によっては、延期を検討)
6月～翌年1月	県の推進構想の検討会議（4回程度） 6月 骨子案に関する協議 9月 中間まとめ案に関する協議 12月 最終案に関する協議 翌年1月 推進構想の取りまとめ

(注1) カーボンリサイクル：CO₂を資源として捉え、これを分離・回収し、鉱物化や人工光合成、メタネーションによる素材や燃料への再利用等とともに、大気中へのCO₂排出を抑制していくこと。

(注2) カーボン・サーキュラー・エコノミー：カーボンが生物や化学品、燃料等様々なかたちに変化しながら、自然界や産業活動の中で、持続的に循環する社会経済のこと。